

## 第 44 回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議 議事概要

○と き：令和 3 年 4 月 7 日（水曜日）13 時 30 分から 14 時 15 分まで

○ところ：大阪府新別館南館 8 階 大研修室

○出席者：吉村知事・田中副知事・山野副知事・山口副知事・危機管理監・政策企画部長・報道監・総務部長・財務部長・福祉部長・健康医療部長・ワクチン接種推進監・商工労働部長・教育長・府警本部警備部長

### 【会議資料】

#### 会議次第

資料 1－1 現在の感染状況について

資料 1－2 変異株の発生状況について

資料 1－3 現在の療養状況について

資料 1－4 療養者数のシミュレーションについて

資料 1－5 第四波の特徴について

資料 1－6 医療機関への要請について

資料 1－7 感染状況や医療提供体制の状況に関する専門家の意見

資料 1－8 宿泊療養施設の確保について

資料 1－9 滞在人口の推移

資料 1－10 営業時間短縮要請の取組み（夜間の見回り調査）

資料 1－11 飲食店におけるガイドライン遵守徹底の取組み（昼間の見回り調査）

資料 2－1 まん延防止等重点措置を実施すべき区域における要請

資料 2－2 （参考）まん延防止等重点措置を実施すべき区域における要請 新旧対照表

### 【知事】

- ・皆さんお疲れ様です。
- ・今の大阪の感染状況ですけれども、右肩上がりが続いているという状況です。
- ・そして、これまでにない速度で感染の急拡大が続いているという状況です。
- ・あわせて、重症化の速度も速いのではないかと、重症化率も高いのではないかとということも大阪府における陽性者の分析として出てきています。
- ・これは明らかに変異株の影響が確実に出ていていると思います。
- ・イギリス型の変異株はもともと感染力が強いと言われていますが、今、大阪・兵庫で見られる変異株はほぼこの型です。
- ・感染力の速度の速さ、そして、重症化率が高い、速いというのが今の特徴です。
- ・その中で、重症病床の使用率が 70%に達した場合には大阪モデルの赤信号をつけて、そして医療非常事態宣言を発出するという基準があります。
- ・まさに医療体制も非常に厳しい状況になっているという中で、医療非常事態宣言を出したいと思いません。

- ・そして、今の医療ひっ迫に対して医療体制をいかに拡充していくのか、併せて、府民の皆さん、市民の皆さんに、感染症対策の徹底をお願いするということを決めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

※資料1-1に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-2に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-3に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-4に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-5に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-6に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-7に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-8に基づいて、危機管理監より説明。

※資料1-9に基づいて、危機管理監より説明。

※資料1-10に基づいて、危機管理監より説明。

※資料1-11に基づいて、危機管理監より説明。

※資料2-1に基づいて、危機管理監より説明。

#### 【山野副知事】

- ・私は、医療非常事態宣言を出すべきという立場で事実確認をさせていただきたい。
- ・資料1-5の9ページのとおり、重症者割合は第四波で減って、2.4%になっているのですが、これは全体の感染者がもっと増えるスピードが速い、分母が非常に増えている。
- ・資料1-5の1ページのとおり、2週間で4.3倍となっていますので、それがベースにあるというという理解でいいのでしょうか。
- ・もう一つは重症化率が、第三波の最初の11月・12月に比べると2倍以上の急角度で増えているということなので、陽性者全体で見るとパーセンテージは減っていますけれども、重症化の速さはものすごく速くなっているという理解でいいと思うのですが、その点をまず確認させていただきたい。

#### 【健康医療部長】

- ・まず一つには、なぜ第四波で2.4%となっているかといいますと、極めて母数が大きということと、母数の中でも20代・30代の若い方が多いので、全体としての陽性率は下がることとなります。
- ・60代以上や40代以上の方の数字を見ていただくのが、年代別でいうと正しくなるかと思っています。
- ・(資料1-5の9ページの)数字が9.7%、22.7%と上がっているということと、重症者のうちの50代以下の割合が急に上がっているということが、重症化率が若干増加傾向にあるということとそれと1日半から2日程度早く重症化されているということが今回の背景にあります。

#### 【山野副知事】

- ・今の話に関連して、若者が重症化するというのが、第三波ではそんなに数はなかったと思うんですけども、今第四波では若者の重症化も増えているという理解でいいでしょうかね。

**【健康医療部長】**

- ・ 8 ページを見ていただくと少し実感していただけたと思いますが、8 ページの第三波の左にある円グラフを見ていただきたいのですが、重症化される方の 8 割の方が 60 代以上というのがこれまでの状況です。
- ・ 第四波に入りまして、3 月 1 日以降は 50 代以下の陽性者が 4 分の 1 を占めている。
- ・ 数字的にもこういうことになっておりますし、日々の重症化について年代も含めて把握をしておりますが、これまでになかった 30 代・40 代・50 代の重症患者の方が 1 日 1 例あるいは数例生じているという状況です。

**【山野副知事】**

- ・ これまで報道で見ていたように、若者はあまり重症化しないという、私もそういう基本的な認識でしたが、今回の第四波については、若者も重症化するというをよく認識しておかないといけないということで、よろしいですか。

**【健康医療部長】**

- ・ 若い方、10 代・20 代の方で重症患者は多く発生するわけではないですが、これまで高年齢の方だけが重症化するという前提では対策が打てない。
- ・ 50 代以下、40 代・50 代の方、ときには 30 代の方でも重症化される方が出るという状況です。

**【山野副知事】**

- ・ もう一つ、変異株の影響ですけど、これはなかなかまだ母数が少ないので分析が難しいと思いますが、明らかにこのデータを見ると、変異株が感染のスピードと低年齢化に影響しているように見えますのですが、健康医療部が持っている知見の中で、わかることがあったら教えてもらえればと思います。

**【健康医療部長】**

- ・ 特に、小・中・高・大学生の感染経路というものを同じ資料の 5 ページで比較しており、前半と後半で、確定的なことは申し上げられませんが、3 月後半の感染拡大というのが変異株の発見率が高まっていますので、影響を受けていると思われまます。
- ・ 例えば、小学生の感染者の中で、家庭内感染以外、家族は比較的濃厚な接触の中で感染されるということですが、それ以外の濃厚接触者からの感染あるいは小学生・中学生のリンクレスの感染者が増えているということから見ても、変異株が若い方の感染力に影響を及ぼすと仮定しますと、今後、感染者数に大きな影響を及ぼすのではないかと懸念しています。

**【山野副知事】**

- ・ 病床数のひっ迫が相当、スピード感を持ってきているということなのできっちり対応は必要だと思いますが、変異株だからといって入院する方を特殊な扱いとするのか、宿泊療養施設は柔軟化されていると思います。退院基準の見直しというのは今のところ、国の動きはどんな感じか教えてください。

**【健康医療部長】**

- ・国の方は早ければ今週中に退院基準の見直しを行っていただくというお話でしたが、今のところまだ動きはありません。
- ・専門家のご意見の中でも、本日も書いていただいておりますが、退院基準の見直しを早期にしてほしいという朝野先生、倭先生、佐々木先生からご意見が出ています。
- ・朝野先生からは、もし国の動きが遅ければ、府独自で検討してもいいのではないかとのご意見もいただいているところです。

**【教育長】**

- ・まず確認したいのですが、レッドステージに今日入るといえることでしょうか。
- ・あるいは70%台に到達した時点でレッドステージに入るといえることでしょうか。

**【危機管理監】**

- ・すでに現在の状況がこのような状況になっていますので、レッドステージに入る。
- ・そして、医療非常事態宣言になると考えております。

**【教育長】**

- ・資料2-1には出てないですけど、今日の本部会議で、レッドステージに入るといえることを決定するという理解でよろしいでしょうか。

**【危機管理監】**

- ・資料の2-1に書いておりませんがそういう理解で結構です。

**【教育長】**

- ・学校について、4月1日の本部会議におきまして、まん延防止等重点措置区域の指定に決まった段階で、レッドステージに入ったときの措置を前倒しでやるということを決めておりますので、基本的には、その措置をしっかりとやっていきたいと思っています。
- ・それに加えて、明日から大部分の学校が始まりますので、特にマスクを外す場面、具体的には食事をするときの注意事項を改めて学校に周知をするということと、食堂の状況を調べたところ、対面式のテーブルでアクリル板を設置していない食堂がまだ残っているということがわかりましたので、それは早急に学校でアクリル板を設置するよう、この会議終わったら指示を出していきたいと思っています。
- ・それから、CO2センサーも置くようにこれから指示をしていきたいと思っております。
- ・学校の取組みは以上です。

**【政策企画部長】**

- ・「レッドステージ2」に入るかどうかというご議論ですか、「レッドステージ1」ですか。

**【教育長】**

- ・「レッドステージ1」です。

#### 【政策企画部長】

- ・「レッドステージ1」であれば、そのとおりの認識です。

#### 【田中副知事】

- ・まん延防止措置の効果が現れるのは、もう少し先だと思うのですが、しかし今、このように急激に感染者が増え、病床も非常に大変なので、医療体制については、今日ご提案の内容で、より一層、はたらきかけるとともに、府民に対してもはたらきかけていくのは、賛成です。
- ・その上で、ひとつ教えていただきたいのですが、変異株がどうしても気になります。
- ・先ほど、山野副知事がご発言されていたように、データがまだ少なく、年齢層の問題や重症化率については、十分わからないということです。
- ・一方、兵庫県も、同じように変異株が多いと聞いております。
- ・兵庫県との何らかの共通性が、あるのかなのか。

#### 【健康医療部長】

- ・兵庫県は、とりわけ神戸市で、ゲノム解析をされており、変異株のタイプとしては、大阪で今確定しているタイプと、ほぼ似た変異株の状況になっています。
- ・英国で報告された変異株ということが一点と、それと、兵庫県全体というよりも神戸市内なのですが、重症ベッドの使用率が進んでいるとお伺いしています。
- ・重症ベッドが埋まっていることと、患者さんの変異株の陽性・陰性との関係については、確定的なことは伺っていません。

#### 【知事】

- ・それに関してですが、兵庫県も変異株が多く出ていると。
- ・そして、大阪の分析では、感染速度が速く、そして病床との関係で言えば、重症化するのも速い、また、重症化する範囲も広がっていると。
- ・一定のこういった分析があるわけですが、重症化の速度が速い、重症化率が高いということについて、兵庫で何か分析されていることはありますか。

#### 【健康医療部長】

- ・その点に関して、兵庫県からお伺いしたことはありません。
- ・入院調整と、患者のデータの情報収集をセットで行わないと、情報管理ができませんので、入院調整を一元的に行うことで、こういった管理が大阪ではできていると考えています。
- ・入院を行っている病院単位では、その分析が可能かと思っておりますので、兵庫県内の医療機関で、分析が行われているかどうかをお伺いしたいと思っております。

#### 【知事】

- ・国では、そういった、重症化率が速いとか、重症化しやすいとか、イギリス型の変異株についての公式な発表はあるのですか。

**【健康医療部長】**

- ・国からお伺いしているのが、イギリスで報告されている変異株では「ウイルス量が減るスピードが遅いのではないか」ということについて、今、全国からの検体を、国立感染症研究所で、調査・分析していると聞いております。
- ・そのことによって、従来株と同じ退院基準である「10日間」で、対処ができるのかどうかについて、国の方針をお待ちしているところです。
- ・現時点では、PCR検査で陰性確認されるまでは、退院できないという国の考え方で進めています。

**【知事】**

- ・退院基準の分析は、現在進行形で検討されているということですが、重症化のスピード、重症化率が高いといったことについては、国にN501Y型の検体が、いろいろ集まってきていると思います。
- ・国として正式には、まだ判断をしないということなのでしょうか。

**【健康医療部長】**

- ・国からの資料では、海外の分析事例については、データとして示されています。
- ・国内の治療経過について、データがたまっているかどうかは、確認します。

**【知事】**

- ・感染については急拡大の状況で、そしてそれは今も続いていると思います。
- ・そして、変異株の影響は確実に出ています。
- ・やはり重症化率が高く、重症化の速度が速いということも、数字上では、そのような分析で間違いはないだろうと思っています。
- ・本日、医療非常事態宣言を出して、府民の皆様、「大阪府全域における不要不急の外出の自粛」を呼びかけたいと思います。
- ・あわせて、医療非常事態宣言を出すことによって、医療崩壊の危機であるという状況にありますから、医療の皆様、緊急の対応についても、あわせて今日の会議の内容で、お願いしていきたいと思います。
- ・府民の皆様、それから医療関係者の皆様に対して、感染急拡大の状況を何とか抑えていかなければなりません。
- ・まだ急拡大は続くと思いますので、それに対して、我々としてできる限り対応していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

以上